

## 神戸大学(学部入学定員:2,547人)

[取組学部・研究科等:○国際文化学部(140人),文学部(115人),人文学研究科(50人),発達科学部(280人),法学部(180人),経済学部(270人),経済学研究科(83人),経営学部(260人)]

### 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

神戸大学の教育理念「真摯・自由・協同」の精神に基づき、卓越した外国語能力と高度な専門性を持って、地球規模での現代的諸課題に立ち向かい、国際社会の持続可能な発展を可能とする「問題発見型リーダーシップ」を発揮できる「グローバル人材」の育成を目的とする。

### 【構想の概要】

神戸大学では、教育目的に掲げる「人間性の教育」、「創造性の教育」、「国際性の教育」、「専門性の教育」を踏まえつつ、上記の人文科学系及び社会科学系の6学部及び2研究科がそれぞれの教育プログラムを通じて互いの専門性を越えて協力し、深い教養と高度な専門性、グローバルな視野と卓越したコミュニケーション能力を備えた「問題発見型リーダーシップ」を発揮できる「グローバル人材」を育成する。

## ■教育課程の国際通用性の向上

### ○教育課程の国際通用性の向上のための取組

全学的な教学マネジメントを担う「大学教育推進機構」の「大学教育推進本部」、「国際教養教育院」、「国際コミュニケーションセンター」及び「大学教育研究推進室」と、グローバル教育をさらに推進するため大学教育推進本部に設置するグローバル教育推進委員会により、国際通用性の向上のための取組(①学修時間の確保, ②カリキュラムの体系化, ③GPAの活用と成績評価の厳格化, ④学生の主体的な学びを促進するための環境整備, ⑤アクティブ・ラーニングの推進)を実施することにより、単位制度の実質化を図り、学生の能動的学修を推進している。

### ○戦略的な国内外への教育情報の発信

育成しようとするグローバル人材像及び獲得する能力を明示し、併せて、留学促進のための支援状況等を積極的に公表することを目的に本事業のHPを作成し、また、グローバル人材育成に関する各種情報誌に本学での取組を紹介し、神戸大学におけるグローバル化推進に係る取組を発信している。

### ○事務体制のグローバル化

事務職員のグローバル化対応能力の向上を図るための英語外部試験(TOEIC)や、実務能力養成のための国内外での語学等研修や国際職員研修を実施し、学生の留学支援及び外国人教員の日本での活動支援を推進している。

## ■グローバル人材として求められる能力の育成

### ○異文化・日本文化理解と多様な価値観の尊重

多様な価値観の尊重と日本文化・異文化に対する深い理解力の涵養を目指すため、全学共通授業科目の中で、「グローバル共通科目」(平成27年度:19科目)を指定し「国際性の教育」の強化に取り組んでいる。

### ○卓越した外国語運用能力

入学時に実施する英語外部試験(TOEIC又はTOEFL)によるスコア等を基に250名を選抜の上、習熟度別少人数クラスを編成し、ネイティブ教員により授業を行うグローバル英語コース(GEC)を設け、卓越した外国語運用能力の向上を図っている。

### ○高度な専門性の涵養とグローバル教育プログラム

各取組学部の特色を活かした教育プログラムにおける専門科目に、英語等で授業を実施する「グローバル専門科目」(平成27年度:75科目)を設け、各取組学部間での相互履修を推進し、高度な専門性の涵養に努めている。

## ■語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

主たる取組学部である国際文化学部では、平成28年度入試から、TOEFL iBTのスコアを利用する推薦入試を開始する。(募集人員10人)

### ○効果的な語学教育及び教育体制

全学部学生を対象に、平成24年度から英語外部試験(TOEIC又はTOEFL)を受験料大学負担により継続して実施している。平成26年度新入生の受験率は約83%であった。さらに、上述のグローバル英語コース(GEC)では、留学準備コースとして設置するクラス「PSA」において短期英語海外研修を実施している。平成26年度は69名の学生をニュージーランド・オーストラリアへ派遣した。

## ■教員のグローバル教育力の向上

### ○教育体制のグローバル化

取組学部や国際コミュニケーションセンターでは、海外大学での教育経験や国内での外国語による教育経験が豊かな教員並びに外国人を積極的に専任教員・非常勤講師として採用・配置し、教育体制のグローバル化を図っている。

### ○グローバル教育力向上のための取組

取組学部では、海外の大学へ所属教員を派遣の上、外国語での講義を行い、海外の教育現場においてグローバル教育力を実践している。さらに、海外の協定大学から講師を招聘し、外国語での講義やFD研修会を行い、教員のグローバル教育力の向上を図っている。

## ■日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○動機付けや留学を促進するための取組

海外留学において取得した単位の認定に関し、従来、協定大学での取得単位のみを対象としていた制度を、平成26年度から協定校以外での取得単位も認定対象とし、学生の留学促進の環境整備を図っている。

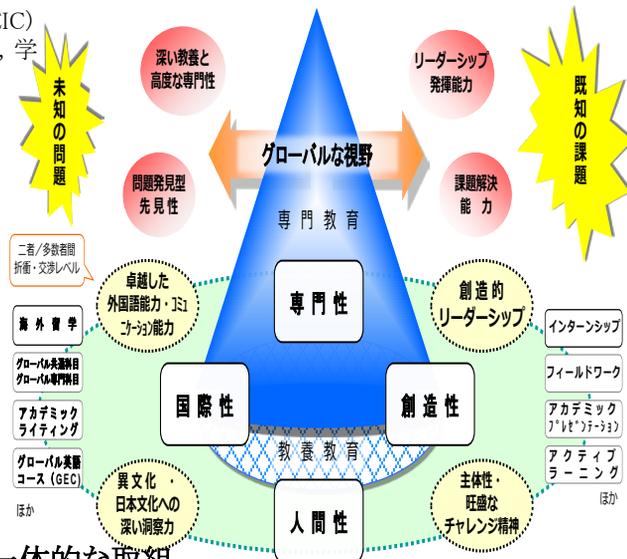
### ○留学中から帰国後にわたるサポート体制

平成26年度に設置した「海外インターンシップ専門委員会」では、神戸大学海外同窓会の協力の下、留学中の学生も対象とする短期プログラムを企画・実施している。平成26年度はタイ・ラオス・マンマー・ポーランドで実施した。また、帰国後の報告会において留学未経験者と情報共有している。



(ラオスの子供文化センターでのインターンシップ)

「問題発見型リーダーシップ」を発揮できる「グローバル人材」が修得すべき能力



**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

- ①深い教養と高度な専門性  
地球規模での諸課題の発見やその解決にリーダーシップを発揮できるための基礎的能力
- ②問題発見型先見性  
人々の声なき声を聞き分け、そこに新たな問題や課題が伏在していることを発見し、社会に向かって発信・説得する能力
- ③課題解決能力  
創造的な計画立案力だけでなく、想定外の変化や障害に対して柔軟に対処しつつ事業を完遂する能力、企画・運営能力
- ④リーダーシップを発揮できる能力  
「学生の自主性・自律性を尊重し、個性と多様性を重視した教育」(神戸大学教育憲章)の実践に基づく能力

**本構想において実現する達成目標及び実績**

全学		達成実績				達成目標	
		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				152人	160人	177人	193人
うち海外留学未経験者数(A)				143人	110人	74人	77人
海外留学経験者数(B)		73人	57人	75人	151人	150人	152人
卒業[予定]者数(C)		1,311人	1,308人	1,329人	1,390人	1,315人	1,315人
比率((A+B)/C)				16.4%	18.8%	17.0%	17.4%
文学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		29人(28)	14人(3)	18人(10)	23人(12)
	海外留学経験者数	1人	2人	1人	8人	10人	12人
	卒業[予定]者数	115人	117人	131人	113人	115人	115人
国際文化学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		32人(32)	38人(21)	45人(10)	50人(10)
	海外留学経験者数	53人	31人	41人	67人	75人	75人
	卒業[予定]者数	147人	132人	139人	162人	140人	140人
発達科学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		15人(13)	13人(12)	25人(15)	30人(15)
	海外留学経験者数	0人	3人	2人	12人	15人	15人
	卒業[予定]者数	290人	286人	301人	294人	290人	290人
法学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760		18人(18)	26人(20)	18人(14)	18人(14)
	海外留学経験者数	3人	5人	5人	7人	4人	4人
	卒業[予定]者数	193人	236人	206人	221人	200人	200人
経済学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760		16人(15)	7人(4)	37人(6)	37人(6)
	海外留学経験者数	11人	8人	18人	41人	31人	31人
	卒業[予定]者数	298人	279人	287人	307人	290人	290人
経営学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		42人(37)	62人(50)	34人(19)	35人(20)
	海外留学経験者数	5人	8人	8人	16人	15人	15人
	卒業[予定]者数	268人	258人	265人	293人	280人	280人

※1) 学部数が多く、本表が1頁以内に収まらない場合は、「海外留学経験者数」の期間別内訳を省略してもかまわない。  
 ※2) 「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。  
 ※3) 上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。